

2025年度 学校関係者評価報告書

学校名：東海工業専門学校金山校

1 学校目標

- ・教職員の意識、行動の更なる活性化
- ・目標、プロセスの見える化の推進
- ・広報力の強化
- ・経営の効率化
- ・国際化の取り組み
- ・地域社会貢献のための新事業の検討

学校目標に対する評価・意見

- ・自校に対して全体的に厳正な自己評価を行っており、学校目標に対して高く評価できる。
- ・厳しい学生募集環境の中にあっても、これまでの実績や学校の魅力をより積極的に発信していくことを期待したい。
- ・一級・二級建築士など国家試験の合格率向上は大学との差別化につながり、高く評価できる。今後のさらなる成果にも期待したい。
- ・起業した卒業生を招いてセミナーを実施したことは、学生の職業意識・起業意識の向上につながり、意義深い取り組みである。
- ・ICT教育支援ツール「GLEXA」の導入は、効率的な人材育成が求められる時代に即したものであり、高く評価できる。今後の活用にも期待したい。
- ・建設業協会など関係機関との連携を通じ、教育課程を編成・実施する体制の整備が適切に行われているか、引き続き検討・確認を求めたい。

2 学校自己評価報告書について

学校自己評価報告書基準	学校自己評価報告書についての評価点の平均		
	自己評価の結果が適切か	改善に向けた取組みが適切か	今後の改善方策が適切か
(1) 教育理念・目標	4.0	4.0	4.0
(2) 学校運営	4.0	4.0	3.8
(3) 教育活動	4.0	4.0	4.0
(4) 学修成果	3.8	3.6	3.6
(5) 学生支援	3.8	3.4	3.4
(6) 教育環境	4.0	3.8	3.8
(7) 学生の受入れ募集	3.6	3.6	3.6
(8) 財務	4.0	4.0	4.0
(9) 法令等の遵守	4.0	4.0	4.0
(10) 社会貢献・地域貢献	3.8	3.6	3.6
(11) 国際交流	3.6	3.6	3.8

3 今後の具体的な改善方策

- ・学校としての重点項目や将来ビジョンを明確に示し、それを実現するための中長期的な計画を策定する。
- ・建設分野で求められる人材像を明確にし、各学科の科目内容を体系的に整備した上で、第三者評価制度への計画的な準備を進める。
- ・昨年度新設した「一級建築士コース」は非常に魅力的であり、今後の展開に大いに期待する。
- ・最先端の知識・技術習得や教員の資質向上のため、継続的な研修やスキルアップの機会を確保する。
- ・教員のスキルアップを促すため、BIM・CIM・建設ICTなどの講習会に参加しやすい環境（予算措置・情報提供）を整備する。
- ・ここ数年間、授業評価アンケートを継続的に実施しており、その結果を踏まえて学生の意見や要望を教育運営や環境整備に反映させる体制をさらに充実させる。
- ・退学率低減のため、入学後早期の学生面談や保護者会を継続的に実施し、家庭と学校の連携体制を強化する。
- ・校友会各支部との連携・情報交換を一層強化し、組織的なネットワークを活性化させる。
- ・各県の測量設計業協会・建設業協会との連携を一層発展させ、リカレント講座や資格取得講座の計画的な開講を進める。
- ・社会・地域貢献の一環として、学生ボランティア活動の推進や、公開講座・資格取得講座などの地域向け教育活動を積極的に展開する。
- ・国際化の推進にあたり、留学生受け入れ体制の整備をさらに進め、国際的な教育環境の充実を図る。
- ・学生数減少が進む中、大学における建築学科新設の動向を踏まえ、早期に危機管理体制を構築し、具体的な対応策を講じる。